



# 塾全協新聞

題字: 惺齋(白川亮 進ゼミ柏)

発行: NPO 法人学習塾全国連合協議会  
全国事務局長・東日本ブロック  
広報局長: 中村基和  
発行日: 2023年(令和5年)4月

## ご挨拶

NPO 塾全協 全国会長・西日本ブロック理事長 **山下典男** (岡山県 明修塾)



会員の皆さまには、平素より NPO 塾全協の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

第二次世界大戦敗戦による占領政策、国際社会への復帰、高度経済成長、オイルショック、ソ連崩壊、東欧の民主化、バブル経済の崩壊など、戦後生まれの私たちは多くの歴史的な状況に直面してきましたが、加速度的に進む高度情報化社会、グローバル化、少子高齢化、国際社会の中の日本の地位の低下など、21世紀になってわずか間に一気に湧き上がってきました。加えて、ロシアのウクライナ侵攻による国際社会の混迷、コロナ禍による生活様式の変化などの中で、私たちがどこへ向かっていっているのか、そのような問題解決のために何をすればよいのか、私にはさっぱり分かりません。せめてこのような時代の中でも、しっかりと立ち向かっていく若者を少しでも育成することに、いくばくかでも手を差し伸べていければ、と思う今日この頃です。

NPO 塾全協はまもなく設立 50 周年を迎えようとしています。塾全協は昭和、平成、令和を通して精力的に活動してきましたが、これまではこれまでとして、変化の激しい時代の中で、今後どのように存在し続けるべきかを会員の皆さんで討議すべき時期に入ってきました。会員相互が対面で活動する機会も増えてきました。忌憚のない意見交換を積む1年と位置づけたいと存じます。

## 塾という仕事のもう一つの楽しみ

NPO 塾全協 東日本ブロック 理事長 **内藤潤司** (埼玉県狭山市 ソロモン総合学院)



3月3日に県立高校の発表があり、高校入試はすべて終わりました。休暇に暖かい南の島にでも2、3日出かけたのですが、新生生の説明、入塾テスト等々次から次へと仕事があり際限がありません。最近つくづく46年もよくやってきたものだと思います。1期生は、今年60歳を迎えます。なんだか信じられないことです。

昨年のクリスマス直前、アメリカのフィラデルフィアに住んでいる長男一家を訪問するため5日の日程で行ってきました。驚異的な円高でどのような生活をしているのか、孫たち三人がアメリカの学校生活になじんでいるのかを視察するのが目的でしたが、実は52歳になる卒業生がニューヨーク住んでおられて、帰りに寄ることも予定していました。息子の家まで車で2時間以上かかるのですが、「先生2時間ぐらいなんでもないので車で迎えに行きますから、来てください」と強く言ってくれ、息子の家までベントで迎えに来てくれました。ニューヨークで何がしたいですかというので、メトロポリタン美術館とジャズのライブに行ってきました。彼女は、ハドソン川を見渡す35階の、日本で言うタワーマンションに住んでいました。実は彼女は卒業してから30年近く消息が分かりませんでした。同級生に聞いてもよくわからず日本にはいないらしいということでした。それが、コロナが蔓延する

直前、彼女が塾を訪問してくれました。事務さんが、「この名前の卒業生が来ましたが、知っていますか」と名前のメモがありました。

忘れもしない気になっていた生徒の名前。「まもなくアメリカに帰るそうです。」やはりアメリカにいたか、会いたかったな。それから2日後、「明日アメリカに帰りますが、先生にあいたくて来ました。」と再び来てくれました。それからラインでのつながりができ、ニューヨークでのコロナの蔓

延の状況を克明に報告してくれました。彼女は、あのビジネスの厳しい街で会社を経営しており、コロナで多額の損失を受けましたが、頑張っております。30年を超えても忘れないで、慕ってくれる人間関係が保て、塾の仕事は楽しいもので塾を始めた時には想像のしなかったことです。

## NPO 塾全協の1年

### 2022年5月22日(日) 西日本ブロック総会

場所：共学館義塾(大阪府吹田市)

コロナ禍以降初めての対面式会議で、東日本ブロックからも3人出席しました。西日本ブロックは教科研修会も関西教材フェアも催されることがなかったので、議題は主として全国研修大会のことになりました。実行委員長の杉山先生は都合でオンラインで参加となりました。

### 2022年5月29日(日) 東日本ブロック総会

全国総会

場所：としま区民センター(東京都池袋)

以下のことが決定、確認されました。

- ① 毎年4月発行の「塾全協新聞」は、従来東日本ブロックが発行し、主として東日本ブロックのイベント報告や会員の投稿を載せるものでありましたが、今後は「全国版」となります。
- ② 東西別々にホームページ上で発行していた「ブロック通信」は東西統一の「NPO 塾全協通信」として、今年度7月号より原則毎月発行します。
- ③ 今年度の全国研修大会は西日本ブロック担当で、10月30日(日)に大和屋本店(大阪市中央区)で「—新しい英語教育の時代—日本の英語教育が変わる」のテーマで開催されます。講師は、中嶋洋一氏(関西外語大学教授)と、田尻悟郎氏(関西大学教授)

### 中高入試を考える会

場所：同上

講師：(株)声の教育社営業部 部長代理 三谷潤一氏

コロナ渦のため久しぶりの開催となりました。従来は東京、埼玉、千葉の3部に分けてそれぞれ別の講師に講演をしていただいておりましたが、今回は一人の方に全部の話をしていただきました。

### 2022年9月18日(日) NPO 塾全協 第43回 私立中高進学相談会

場所：新宿 NS ビル B1 イベントホール

ブース参加校：107校(内2ブース校2校) その他 高校専修コーナー：3校 来場者：3,900名

#### 進学相談会雑感

NPO 塾全協副会長 進学相談会実行委員長 稲葉秀雄 (千葉県柏市 秀和教育センター)

学習塾全国連合協議会の設立は1975年7月となっています。当時の東日本ブロックだけの会員数は約2000会員と聞いております。そのような会員数の中開催された進学相談会はおそらく1980年が業界では初めてではないかと推察いたします。今年度(2023年)は第44回目の進学相談会を開催させていただく事になります。当時の会員数から考えますとまさに会員のための進学相談会であったと思います。

当時は任意団体であるため会員中心でもよかったのですが現在はNPO組織の中での開催ゆえに会員だけではなく広く社会に向けて役に立つ相談会ではなくはなりません。そのため会員以外の塾、および公立の小学校・中学校、朝日新聞本紙にもご案内を出させていただいております。

私が進学相談会を引き継いだのは菅原先生でした。その当時から新宿 NS ビルで開催されていました。終了後は参加された先生方と懇親会を隣のワシントンホテルで盛大に実施していました。今振り返ると菅原先生がお一人でこ

の事業をまわしていた事を考えると、相当のご苦労があったと思います。よく菅原先生の奥様や子供さんたちも一緒になって手伝っていただきました。その姿を見ながら私としては引き継いだ以上は絶やさず続ける決意でスタートしました。上記しましたが当時の参加者は塾全協の会員塾の塾生の方々と学習塾団体への呼びかけで団体加盟塾の先生方の塾生が中心になっておいいただきました。私が引き継いでからはご存じの通り、塾全協の会員塾の減少や他団体の塾からの参加も減ってきました。NPO 設立の意義を再度振り返り多くの受験生に参加を呼び掛ける事が必要であると気が付き参加者募集の手法を大きく変えさせていただきました。今後はより組織的に運営していかないとこの事業は途絶えてしまいかねません。現在は塾全協の東の理事の先生方のお力添えをいただきながら運営をさせていただいております。

塾全協の進学相談会は日本で初めて学習塾と私立学校が一緒に企画して始

めた進学相談会であると当時の私立中高協会副会長の故實吉先生(東京女子学園理事長)がお話していました。(雑談の中ですので真偽のほどは分かりませんが)その後急速にたくさんの進学相談会が立ち上がり現在に至っております。塾全協の進学相談会はその意味から老舗中の老舗であり今後も受験生のために続けていかなくてはなりません。私も菅原先生から何年度に引き継いだか忘れてしまいましたが、自分の年齢を考えると相当長く携わってきたことは確かです。

今後、この事業を引き継ぐことは今までのように一塾の先生に任せるにはご負担が大きすぎると感じております。来年は全国学習塾協会の周年行事もあり、まずは自分の健康を第一に考え少しでも皆さんのお役に立てる幸せを感じながら活動していきたいと思っております。



**2022年9月25日(日) NPO塾全協 埼玉地区 第35回 私立中高進学相談会**

場所：川越プリンスホテル 3F

ブース参加校：29校 来場者：635名



埼玉地区進学相談会実行委員長 木名瀬洋一 (埼玉県坂戸市 慶葉進学アカデミー)

令和4年9月25日(日)に川越プリンスホテルにて、埼玉地区主催の進学相談会が行われました。コロナ下の中で、今年も昨年と同様に、会場を従来の約1.5倍の広さにし、各入口に消毒液の設置、パソコン画面による自動検温、デスク用アクリルパーティションの設置など様々な感染対策を行い、相談会は行われました。事前予約も予約日初日に定員が埋まりニーズの高さがうかがえ、当日も大盛況でした。生徒・保護者にとって有意義な1日であったと思います。

私も実行委員長として今年も参加させていただいて、自塾生も含めて生徒が、高校の先生と話をする真剣な表情を見て、今年もやってよかったと思い、第1志望校に合格してほしいと切に願いました。



## 2022年10月2日(日) NPO塾全協 千葉地区 第34回 私立中高進学相談会

場所：流通経済大学松戸キャンパス

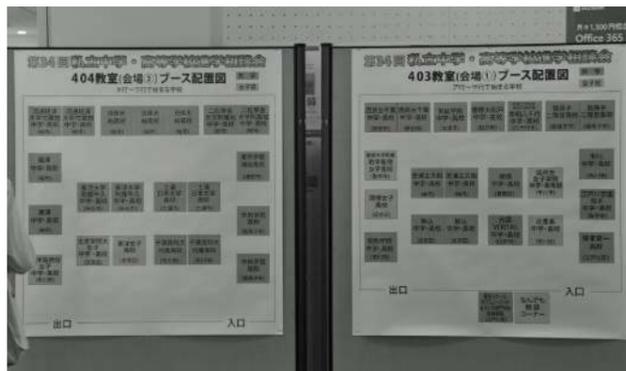
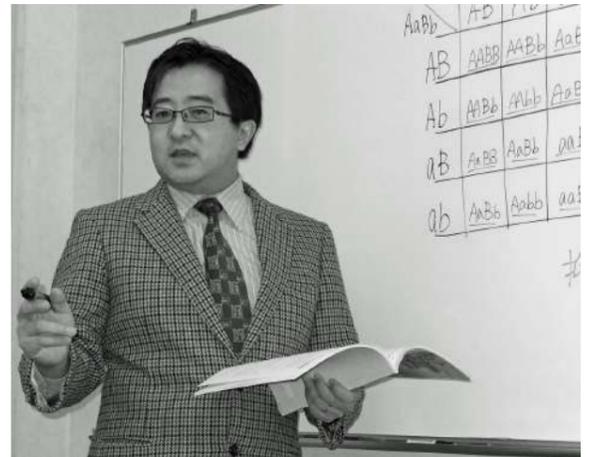
参加校：31校      ブース数：30      来場者：約500名



千葉地区進学相談会実行委員代表 小林 英  
(千葉県柏市 明和学院)

一昨年度はコロナ下で軒並みイベントが中止となった中での開催(2021年は中止)だったため逆に集客には苦労しませんでした。今回は時期が遅めになったことや自由入場になっていたことが裏目にでた感があります。

この反省点を踏まえ、開催概要や広告戦略などを千葉地区会員全体で練り直す会議を行っており、今年度は開催時期を9月前半に前倒しすることが決定となりました。



## 2022年10月30日(日) NPO塾全協 第46回全国研修大会

場所：大和屋本店

テーマ：新しい英語教育の時代へ 日本の英語教育が変わる

講師：第一部 中嶋洋一氏 関西外国語大学教授      第二部：田尻悟郎氏 関西大学外国語学部教授



大会宣言を読み上げる杉山実行委員長

第46回全国研修大会実行委員長 杉山信良 (大阪府柏原市 栄光塾)

昨年10月30日(日)に大阪市の大和屋本店に於いて、第46回塾全協全国研修大会を開催しました。

英語の4技能習得を目標に改定されたカリキュラムにより、中学校の現場では全国的に混乱が起こっている事や、各塾でも苦戦を強いられている現状を鑑み、神戸での研修大会でもお招きした関西外国語大学の中嶋洋一先生が『SUNSHINE』の代表執筆者である事から、再度お招きし、さらに前職の中学校教諭時代に、マジシャンと呼ばれる伝説の教師として「NHKプロフェッショナル仕事の流儀」で紹介された経歴を持つ『BLUESKY』の執筆者で関西大学教授の田尻悟郎先生にも来ていただける事になり、会員限定の中身の濃い研修大会になる事が期待され、準備の段階から楽しみで、ワクワクしながら当日を迎えました。

中嶋先生の基調講演では、中学校の教科書改訂により、現場が混乱している事にも触れておられましたが、中嶋先生の授業風景の映像で、恐らく元は世間一般の高校生だった受講生たちが、中嶋先生のクラスを受講する事で、正しい発音が身に付いていった様子が伺え、今から自分も受講したいと思いました。

また、田尻先生の講演では、『発音記号通りに発音できるようになれば、ネイティブの発音が聞き取れるようになる』という言葉が印象的で、学習塾が従来行ってきた学習指導に加えて、田尻先生が提唱する実践を行えば、英語の4技能が習得できるのではないかと気付きを与えられた研修大会でした。

### 大会宣言

世界中に蔓延したコロナ禍の影響により、日本でも多くの活動が制限され、我々塾全協も一昨年は、全国研修大会を中止せざるを得ない状況に置かれました。

昨年は、リモートにより研修大会を再開しましたが、今年度は、皆が大阪に集結し、研修の塾全協の原点に立ち返るべく、權より始めよ、まず会員である私たちが研鑽を積める機会が欲しいという強い願いから、『新しい英語教育の時代へ 日本の英語教育が変わる』というテーマが決まり、このテーマにふさわしい講師として、真っ先に中嶋洋一先生と田尻悟郎先生の名前がメンバーの中から挙がりました。

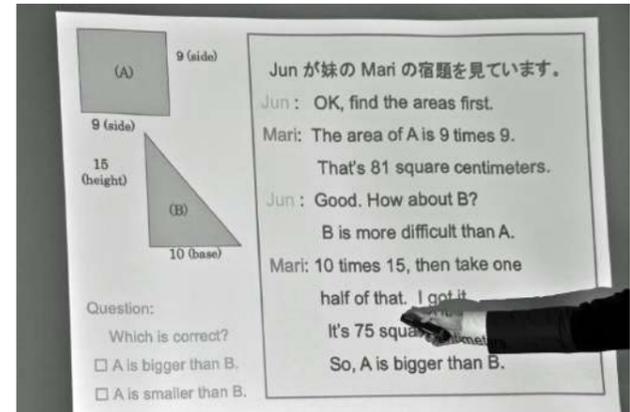
お二人の先生には、快く私どもの招聘に応じただき、この段階で既に今日の第46回全国研修大会の成功を確信しておりました。

中嶋先生の中学校主要教科書の分析とワークショップ、中学生の指導でも実績のある田尻先生の講演で得た気付きと教訓を明日からの指導の糧として、子どもたちに還元していく事をお約束して、大会宣言といたします。

2022年10月30日

第46回塾全協全国研修大会実行委員長 杉山 信良

AI がほとんどのことをやってしまう世の中では、人間が今までやってきた仕事はなくなります。  
一方で、新しい仕事も生まれてきます。  
そのような社会で、最前線で働くことになる子どもたちに、どのような力をつけてやればいいのでしょうか。  
AI にできないこと(人間の存在価値)は、思考力、判断力、表現力(創造する力)、オリジナリティ、問題解決をする力、自己修正できる力、そして相手を思いやること、などです。  
このような力は、人から教えられるものではなく、様々な経験を通して、自ら獲得していくものです。



### 2022年12月15日(木) NPO 塾全協東日本ブロック教材教具展

場所：柏商工会議所 4F



#### NPO 塾全協東日本ブロック教材教具展 実行委員長 星野重治(埼玉県越谷市 総合学習塾マインズ)

令和4年12月15日、東日本ブロック主催の「教育情報展」を柏商工会議所にて開催しました。学習塾業界の厳しさを反映してか、年々規模が縮小していますが、教材会社12社のご出展、塾関係者40名のご来場と、小規模ながら中身の充実したイベントになったと考えています。また、株式会社進学研究会や教育開発出版株式会社のご協力、千葉県の入試情報資料を無料配布できたことは、地域の学習塾への貢献という観点からも、有意義なものであったと存じます。

教材展示会のようなイベントは今後減少していくと思います。それでも、主催者としては、教材会社との出会いという大きなメリットがありますし、学習塾にとっては、教材研究はもちろん、業界の動向、例えば「何がブームなのか?」という状況を把握できる絶好の機会だと思うのです。教材会社にとってみれば、中小塾=大事な顧客でしょうから、一蓮托生、つながりを維持しておきたい、そんな思惑があるのかもしれませんが。

いずれにしても、学習塾にとっては厳しい状況が続きます。中小塾が、地域の方々に選ばれ、生き残っていくためにも、当イベントが、時代の波を感じ取りながら自塾の運営を戦略的に考えるきっかけとして、これからも存在し続けることを願ってやみません。



2022年12月18日(日)・19日(月) NPO 塾全協西日本ブロック拡大理事会・忘年会

場所：奈良 万葉若草の宿 三笠  
参加者：12名



コロナ渦のため2年ぶりの忘年会となりました。帰りには志賀直哉邸の見学もしました

2023年1月11日(水) NPO 塾全協東日本ブロック東京地区主催 オンラインミニ研修会

場所：Web上(zoom)  
テーマ：塾業界の動向  
講師：小林弘典氏(PS コンサルタント代表)



2023年1月20日(金) NPO 塾全協西日本ブロック・関西私塾教育連盟主催 教材フェア in 関西

場所：大阪ビジネスパーク TWIN21MID タワー





### 教材フェア in 関西実行委員 寺田圭吾 (兵庫県姫路市 あすなる学園)

1月20日(金)に大阪城近くのビジネスパーク TWIN21MID タワーにおいて3年ぶりに「教材フェア in 関西」を開催しました。関西私塾教育連盟と共催して20回目。37業者62ブースの出展で、いまだコロナ禍が収束しない中、どの程度の来場者があるのかと案じていましたが、午前10時の開場から多くの来場者があり、最終的な入場者は約250人でした。前回よりも来場者は減りましたが、今回初めて参加した業者から、用意していた資料が足りなくなったという嬉しい悲鳴も聞かれました。



## 新時代はどんな時代だ

NPO 塾全協 西日本ブロック 副理事長 寺田圭吾 (兵庫県姫路市 あすなる学園)

Google レンズを使って宿題をする小学生の話が夏休みにテレビで見ましたが、今度はNHKのニュースで「ChatGPT」というチャットサービスが話題に取りあげられていました。バレンタインデーの前日だったので、アナウンサーがChatGPTに「ラブレターを書いて」とお願いすると、見事なものを一瞬で出しました。人工知能(AI)の進歩によって、いろいろなことができるようになってきています。研修大会で中嶋先生の動画にあったsociety5.0のような、何でもAIがしてくれる時代になると、教育は難しくなってきます。宿題はGoogle レンズやChatGPTを使ってやってしまう。社会に出てからでも、知らないことはネットで検索して、外国人と会話するときはスマホアプリを使って、というような時代になると思ってしまうと、子どもたちは学習する動機を持ちにくくなってしまいます。学生たちに学習意欲を持たせることが、これからの教育には一番必要になってくるのではないのでしょうか。子どものうちは、テストでいい成績を取りたい、授業で発表をして目立ちたい、というようなことを動機としてもいい。また、教科自体の面白さを見つけて楽しんで勉強できればいい。しかし、成長してくると「自分のやっていることは何の意味があるのか、役に立つのか」ということを考えずにはいられないでしょう。そういうことを聞かれたときに、塾生たちには、「直接役に立つことはめったにないけれど、知らないうちに役に立っている。頭をよくするための道具として色々な教科を使っている」ということを言います。また、

「役に立つ勉強」ばかりが重視される社会は、余裕のない社会、潤いのない社会になってしまうように思います。文系学部への企業の寄付や援助は少ないけれど、やはり文学部や芸術学部はなければいけません。そこで大学時代にしかできないことをして青春を謳歌する学生は必要です。

学校ではタブレットを使い、デジタル教科書を使った授業が行われます。これから教員になる人たちは、これまでとは違った指導法などを大学で研究し、それらを身につけて教員になってもらわなければいけません。教員採用試験の志望者が少なくなってきていますが、教育の仕事は、これから変わっていく、やりがいのある仕事です。新しい授業法に慣れていない中堅以上の先生は対応が大変でしょう。一方、塾での授業方法はこの先どう変わっていくのでしょうか。コロナ禍の中で生まれた「リモート」の利用を従来の方法にプラスした形の授業や、無学年制の授業、あるいは思いもよらないことをする塾も出てくるかもしれません。今は試行錯誤の時期でしょうか。私自身は、今更新しいことをしようとは思っておらず、これまで培ってきたもので、生徒たちに伝えるべきことを伝えていくのみと考えています。現代の優秀な経営者・革新者たちは、今のような社会になるとは予想されていなくても、社会の変化に応じて自分を変えることができている。子どもたちには、どんな時代になっても対応できる実力をつけさせればよいと考えて続けていきたいと思っています。

格安 HP制作 **Howcang**

**Broadband** **ロードハンド予備校**<sup>®</sup>

中学3年生対象 高校入試会場もぎテスト

**進研 Vもぎ**

「Vもぎ過去問集、塾内テストも大好評です!!」

首都圏最大、圧倒的参加者数!  
志望校判定はVもぎにおまかせください。

子供たちの輝く未来を応援する育伸グループ

**MONOXER**

公立中高一貫校対策模試は **公中検模試**

**公中検模試**

- ✓10年連続受検者数No.1
- ✓的中問題抽出
- ✓志望校に合った問題

公中検模試は 塾内受検と会場受検が選べます。

日本教材出版

Human Orbit of Publishing and Education

**Hope**

教育図書出版  
株式会社 育伸社  
http://www.kyu@ku.co.jp

1日7分間

ゲーム訓練

学力向上

集中力

カンタン導入

講師不要

低価格導入

**ソクノー速読**

**..SOKUNOU**

学校・塾・法人のお客様へ

生徒の“続けられる”  
学習習慣を身につける!

オンライン学習教材  
**デキマス**

## 令和4年度の高校入試を終えて

NPO 塾全協 東日本ブロック 事務局長 中山和行 (埼玉県比企郡 中山塾)



3月3日の公立高校の合格発表で中山塾の令和4年度高校入試は終了しました。

今年の中山塾の生徒はなかなか勉強のスイッチが入らず、夏期講習でものすごく勉強したのに北辰テストの成績はあまり伸びませんでした。川越・川女などのトップ校を受験するまでには至りませんでした。2番手校中心の受験となり、それでも結果を心配していましたが蓋を開けてみれば、私立公立ともに不合格がでませんでした。完勝です。素晴らしい結果です。喜ばしいことですが、トップ校と2番手校との難易度にずいぶん差がついたと感じます。

また、埼玉県の公立入試は英語と数学が2種類に分かれており上位校は難しい学校選択問題を選び、他は学力検査問題を選びます。そのレベル差が英数とも、ものすごいものになっています。たとえば数学の北辰偏差値60弱の生徒が学校選択問題を受けたら40点取れないかも、学力検査問題を受けたら80点いくかも、

くらいの差を感じます。あくまで主観ですが・・・

坂戸、松山、松山女子に6名受験したのですが成績的には厳しい子が多かったため、数学はあまり難しいものはやらずに基本問題を重視しました。このことが結果として良かったように思います。しかしながら高校に入学してからがちょっと心配です。中山塾は現在、高校生はあつかっていません。

中学の3年間どっぷりとコロナ禍の中で過ごしてきました。ついに実際の顔がわからずじまいで卒業してしまいました。どこかで会ってもほぼ、わからないと思います。

おとなしくて扱いやすい反面、覇気があまり感じられません。

お恥ずかしいエピソードですがお話しします。塾内の公立模試を10人くらいで受けていました。監督をしていた先生に個別授業と試験監督を両方

頼んだ(これ自体がだめだめですが)場面があったのですが、その先生が授業に夢中になって公立模試の生徒に問題を配らずにほったらかしにしてしまいました。その時間が何と50分にもなっていたとのことをあとで聞いてびっくりしました。パーティションで分かれている教室で先生が気づかないくらい静かに待っていたわけです。これには驚きました。本人・親御さんに全力で謝り許してもらいました。

いろいろなことがありましたが全員第一志望合格で卒業してくれました。

高校入試と言う一大事のパートナーに中山塾を選んでくれてありがとう。通い続けてくれてありがとう。中山塾の生徒でいてくれてありがとう。という感謝の気持ちいっぱい送りました。

## 都立高校入試スピーキングテストに意義アリ

NPO 塾全協 全国事務局長、東日本ブロック 広報局長 中村基和 (東京都中野区 むさし野ゼミナール)



皆さんご存じの通り東京都は都立高校受験の一部として都内の公立中学生対象にEST-Jというスピーキングテストを11月に実施しました。都立高校の一般入試は1000点満点で、学力検査(5科)700点、内申点300点です。これに20点満点のスピーキングテストの得点が加算されます。100点満点に換算すると約14点です。1000点満点での学力検査+内申点でボーダーラインの生徒の場合は合否に大きく影響します。このテストは都議会を始め色々物議を醸し出しました。

どこが問題なのかを実際に受けた生徒の話も含めて指摘させて貰いますと、

① テストは前半組と後半組に分けて行うが、後半組は前半組が試験を受けている間教室内で待機している。コロナ対策なのか部屋のドアは開けっぱなしのため生徒達の解答が聞こえてしまう。これは凄惨な情報。ある試験場で後半の

組の監督をしていた先生が「良い点取れそうですね」と言っていたとか。また前半組が終了したあと後半組の生徒がトイレでどんな問題が出たか教えて貰えたなどという話もあります。あと、試験中に隣の生徒の声が聞こえるので、それを参考に録音ボタンを押すのをちょっと遅らせれば有利になる。カンニングと同じです。

②採点はフィリピンに送られてするが、誰が、何人で、どのように採点するか、明確な説明がない。例えば日本人が苦手とするlとr、bとv、sとthの区別はどれくらいチェックされるのか。(この辺りは恐らく学校で殆ど指導がなされていないと思います。生徒の発音を聴けばわかります。)

③あくまでも東京都の公立中学生対象に実施されるもので、国私立中や他道府県の生徒は受けなくても良い。また、病気などで受けられない生徒も受けなくても良い。受けない場合は2月の入試で英語の点が同じだった生

徒達のスピーキングテストの平均点を加点する。(ペーパーテストの得点がスピーキングテストの得点の基準となるならば、スピーキングテストは不要。受けない生徒はその分ペーパーテストや他の科目の勉強に時間を費やせる。)

④英語圏からの帰国子女が圧倒的に有利。

⑤受ける生徒は受験登録時、某企業のサイトに個人情報を入力するが、「個人情報の取り扱いに同意しない選択肢がない」ため、拒否できない。

以上の点でスピーキングテストは公平性、安全性に疑問があるため、私は反対します。そもそもどれだけの日本人に英会話が必要でしょうか?こんなこと言うと英語がしゃべれないヤツの劣等感と思う人もいるでしょうが、ペラペラではないものの、私は英語もフランス語もある程度しゃべれます。でも、役に立ったことは殆どありません。